

代表質問

3月7日の本会議において、市長の施政方針に対する代表質問を行いました。

主な質問と答弁の要旨を掲載しています。

なお、誌面の都合上、一部掲載順を変更しています。



公明党議員団

地域と一体となったまちづくりを 共生社会の実現に向けて コロナ感染拡大、共々に乗り越えて

五十嵐秀城
三井 泰之

笹内 和志
宮田 俊治

高島佐浪枝
※吉田 章浩

灰垣 和美
吉田 忠則

※は発言者

新型コロナウイルス 感染症への対応は

議員 新型コロナウイルス感染症への対応について伺います。

市長 引き続き、相談体制の充実と検査体制の拡充に取り組みます。5歳から11歳の小児へのワクチン接種については、感染症予防の効果と副反応のリスクの双方について、わかりやす

不登校児童生徒の増加 今後の取り組みは

議員 コロナ禍が長期化する中、増加する不登校児童生徒の対応が急務ですが、生徒指導研究指定校について、取り組みを伺います。

市長 不登校児童生徒の小学校の段階からの増加傾向を改善するため、令和4年度から、2つの中学校区を生徒指導研究指定校に指定し、不登校児童生徒の減少に向け、小中学校が連携した研究を推進し、その成果を市内全小中学校に広げ

い情報提供に努めるとともに、小児科などの医療機関に接種を委託し、接種前に丁寧な説明を行っていきま

す。また、ワクチン接種は強制ではなく、ご本人の意思に基づくものです。接種を望まない人や、健康状態などにより接種しなくてもできない人もいることから偏見や差別が起きないように一層の周知啓発に努めていきます。